

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-107941

(P2001-107941A)

(43)公開日 平成13年4月17日 (2001.4.17)

(51)Int.Cl'

F 16 C 11/04
11/10

識別記号

F I

F 16 C 11/04
11/10

マーク (参考)

C 3 J 1 0 5
D

審査請求 未請求 請求項の数7 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平11-288853

(22)出願日 平成11年10月8日 (1999.10.8)

(71)出願人 000124085

加藤電機株式会社

神奈川県横浜市緑区十日市場町826番10

(72)発明者 藤田 錠也

神奈川県横浜市緑区十日市場町826番10加
藤電機株式会社内

(72)発明者 加藤 秀夫

神奈川県横浜市緑区十日市場町826番10加
藤電機株式会社内

(74)代理人 100076831

弁理士 伊藤 捷雄

F ターム(参考) 3J105 AA02 AA03 AA12 AB11 AB47
AC07 DA06 DA15

(54)【発明の名称】 チルトヒンジ

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 構造簡単で安価かつ小型でも高いフリクショントルクを長期間に渡って安定的に創出できるチルトヒンジを提供する。

【解決手段】 取付部材1と、軸受プレート部に設けた軸受孔1Cに回転可能に軸支された軸支部2dとこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフト2と、軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャー6と、第2フリクションワッシャー7と、回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた固定ワッシャー8と、軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャー9と、押え用ワッシャー10と、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸支プレート部の一側面側と前記大径部との間に前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記軸受プレート部の他側面側に接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フリクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部の全部或は一部を挿通させつつ設けた固定ワッシャーと、この固定ワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする、チルトヒンジ。

【請求項2】 取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸受プレート部の一側面側と前記大径部との間に該軸受プレート部に拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記軸受プレート部の他側面側に接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フリクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた固定ワッシャーと、この固定ワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする、チルトヒンジ。

【請求項3】 取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸受プレート部の一側面側と前記大径部との間に該軸受プレート部に拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記軸受プレート部の他側面側に接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フリクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた固定ワッシャーと、この固定ワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする、チルトヒンジ。

【請求項4】 回転シャフトの大径部には、軸支部とは反対方向にその片面或は両面を削り取って取付部が設かれていることを特徴とする、請求項1乃至3のいずれかに記載のチルトヒンジ。

【請求項5】 フリクションワッシャーの面部には、このフリクションワッシャーが圧接する、大径部、軸受プレート部、或は固定ワッシャーの全部或は一部に喰い込む爪部が設けられていることを特徴とする、請求項1乃至4のいずれかに記載のチルトヒンジ。

【請求項6】 フリクションワッシャーが圧接回転摺動する部分には、潤滑剤が塗布されていることを特徴とする、請求項1乃至5のいずれかに記載のチルトヒンジ。

【請求項7】 軸支部の全部或は一部にフリクションワッシャーや固定ワッシャーを拘束する平坦部或は溝部が設けられていることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれかに記載のチルトヒンジ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、とくに携帯用パソコン等のOA機器のディスプレ一体の開閉用に用いて好適なチルトヒンジに関する。

【0002】

【従来の技術】この種のチルトヒンジとしてかしめを用いたものが公知であり、このものは取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受ブ

レート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを有する回転シャフトと、この回転シャフトの大径部と前記軸受プレート部との一側面との間に該回転シャフトに拘束されつつ前記軸支部をその中心部に設けた軸挿孔に挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記軸受プレート部の他側面に接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フリクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする。

10

【0007】この発明はまた、取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸受プレート部の一側面側と前記大径部との間に該軸受プレート部に拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記軸受プレート部の他側面側に接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フリクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた固定ワッシャーと、この固定ワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする。

20

【0008】この発明はさらに、取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸受プレート部の両側部の軸受孔の回りに各々に設けた軸挿孔に前記軸支部を挿通させて固定させた一対の第1及び第2フリクションプレートと、この第1フリクションプレートと前記大径部との間に前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記第2フリクションプレートに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フ

30

リクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するように構成したことを特徴とする。

40

【0009】この発明はさらに、取付プレート部とこの取付プレート部から直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部を有する取付部材と、この取付部材の前記軸受プレート部に設けた軸受孔に回転可能に軸支された軸支部とこの軸支部の一方に連設された大径部とを少なくとも有する回転シャフトと、前記軸受プレート部の両側部の軸受孔の回りに各々に設けた軸挿孔に前記軸支部を挿通させて固定させた一対の第1及び第2フリクションプレートと、この第1フリクションプレートと前記大径部との間に前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させて設けた第1フリクションワッシャーと、前記第2フリクションプレートに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フ

50

リクションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた第2フ

クションワッシャーと、この第2フリクションワッシャーに接して前記回転シャフトに拘束されつつその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた固定ワッシャーと、この固定ワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けたスプリングワッシャーと、このスプリングワッシャーに接してその中心部に設けた軸挿孔へ前記軸支部を挿通させつつ設けた押え用ワッシャーと、この押え用ワッシャーより突出した前記軸支部の端部をかしめることによって形成されたかしめ部とから成り、所定の回転トルクが加えられた時にのみ前記取付部材と前記回転シャフトとが相対的に回転するよう構成したことを特徴とする。

【0009】その際にこの発明は、上記いずれの場合にも、回転シャフトの大径部に、支軸部とは反対方向にその片面或は両面を削り取って取付部を設けることができ、フリクションワッシャーの面部には、このフリクションワッシャーが圧接する、大径部、軸受プレート部、或は固定ワッシャーの全部或は一部に喰い込む爪部を設けることができ、フリクションワッシャーが圧接摺動する部分には、潤滑剤を塗布することができ、さらに軸支部の全部或は一部に、フリクションワッシャーや固定ワッシャーを拘束する平坦部或は溝部を設けることができる。

【0010】

【発明の実施の形態】図面はこの発明の一実施の形態を示し、図1乃至図7において、1はとくに図1乃至図2において想像線で示した例えば携帯用或は卓上パソコンの装置本体A側へ取り付けられる取付部材であり、取付プレート部1aとこの取付プレート部1aより直角方向へ折り曲げられた軸受プレート部1bとから構成され、軸受プレート部1bには軸受孔1cが設けられている。尚、この取付部材1の具体的な形状については限定はなく、図示のものに限定されない。それはさまざまな形状、構造のものがあり得る。

【0011】2は回転シャフトであり、この回転シャフト2はその大径部2aの外径が7mm程度のものであり、略中央部に位置する大径部2aと、この大径部2aの一側部側に同軸状態で連設された取付孔2bを有する取付部2cと、大径部2aの他側部側に同軸状態に連設された軸支部2dと、この軸支部2dの一側部側に同軸状態に連設された若干小径のかしめ軸部2eとから成り、軸支部2dを取付部材1の軸受プレート部1bの軸受孔1cへ回転可能に軸受けさせている。尚、この実施の形態のものは、軸支部2dのかしめ軸部2e側の側面を削り取ることによって形成された変形部2fが設けられている。この明細書においては、かしめ軸部2eと変形部2fを軸支部2dの中に含ましめることができる。その場合は、軸支部2dの中のかしめ軸部2e或は変形部2fとなる。その理由は、後述するように、かしめ軸部2eの径を軸支部2dと同径にしても良く、その場合

変形部2fは、かしめ軸部2e側にも設けられることになるからである。この変形部2fの形状は、図示のものは断面略楕円形状であるが、片面のみを削り取った形状、或は溝、凹部としても良いであろう。変形部2fは軸支部2dの軸方向全部に設けても良いし、軸支部2dの径とかしめ軸部2eは、実施の形態のものは異なっているが、同一径にしても良い。さらに、取付部2cは実施の形態のものは片面を削除した断面半円形状のものであるが、これを両面削除による略小判形状としても良く、その形状について限定はない。

【0012】取付部材1の軸受プレート部1bの両側には、各々軸挿孔4a、5aを設けた平面略おたまじやくし形状の第1、第2フリクションプレート4、5が、該軸挿孔4a、5aへ軸支部2dを回転可能に挿通させつつ添設されており、この第1、第2フリクションプレート4、5はその各尾部4b、5bに突起4c、5cを有し、この突起4c、5cを軸受プレート部1bに設けた係止孔1dに挿入係止させることにより、軸受プレート部1bへ固定されている。この第1、第2フリクションプレート4、5は耐磨耗性に富んだ例えばSK-5の金属プレートを用いているが、このものに限定されない。

【0013】第1、第2フリクションプレート4、5の各一側面には、軸挿孔4a、5aを中心にして放射状に複数の油溜部4d、4d···、5d、5dが設けられている。第1フリクションプレート4と大径部2aとの間には、その中心部に設けた軸挿孔6aへ軸支部2dを挿通させつつ第1フリクションワッシャー6が配置されている。この第1フリクションワッシャー6の大径部2a側と圧接する側の外周には、複数の爪部6b、6b···が軸挿孔6aを中心にして放射状に設けられており、大径部2aに喰い込んで回転シャフト2に拘束され、共に回転するよう構成されている。この第1フリクションワッシャー6の爪部6bを設けた側と反対側のフリクションプレート4と圧接する部分には、軸挿孔6aと同心状に凹部6cが設けられている。

【0014】第2フリクションプレート5の開放側面に接してその中心部に設けた軸挿孔7aへ軸支部2dを挿通させつつ第2フリクションワッシャー7が設置されている。この第2フリクションワッシャー7の開放端面側の後述する固定ワッシャー8と圧接する側の外周には、複数の爪部7b、7b···が軸挿孔7aを中心にして放射状に設けられており、固定ワッシャー8に喰い込んで、後述するように固定ワッシャー8を介して回転シャフト2に拘束され、共に回転するよう構成されている。この第2フリクションワッシャー7の爪部7bを設けた側と反対側の第2フリクションプレート5と圧接する部分には、軸挿孔7aと同心状に凹部7cが設けられている。

【0015】第2フリクションワッシャー7の爪部7bを設けた側に圧接して固定ワッシャー8が、その中心部

に設けた変形軸挿孔8 aに変形部2 fを挿通させることによって、回転シャフト2に拘束され共に回転するよう に設けられており、第2フリクションワッシャー7に設けた爪部7 bが固定ワッシャー8の片面側に嵌り込むことにより、この固定ワッシャー8を介して回転シャフト2に拘束され、共に回転するように構成されている。尚、この第2フリクションワッシャー7の軸挿孔7 aを変形部2 fに合った変形軸挿孔として、回転シャフトへ直に拘束させるようにしても良い。

【0016】9は例えば2枚のウェーブワッシャーを重ねて成るスプリングワッシャーであり、固定ワッシャー8に接してその中心部に設けた軸挿孔9 aへかしめ軸部2 eを挿通させつつ設けられている。尚、このスプリングワッシャー9の形状や使用枚数に限定はない。

【0017】このスプリングワッシャー9に接して、その中心部に設けた軸挿孔10 aへかしめ軸部2 eを挿通させつつ押え用ワッシャー10が設けられている。この押え用ワッシャー10より突出したかしめ軸部2 eの端部をかしめて、かしめ部11を形成させることにより、第1、第2フリクションワッシャー6、7と第1、第2フリクションプレート4、5を圧接状態にして、回転シャフト2を回転させた時に、第1及び第2フリクションプレート4、5と第1、第2各フリクションワッシャー6、7との間にフリクショントルクが発生するように構成されている。

【0018】図7乃至図8は他の実施の形態を示す。この実施の形態のものが先の実施の形態のものと違う点は、フリクションプレートのみであり、他の部材は同じものであるので、説明を省略する。指示記号の同じものは先の実施の形態のものと同じ部材を示す。この実施の形態におけるフリクションプレート12、13はリング状を呈し、各々軸受プレート部1 bと圧接する側の外周に軸挿孔12 a、13 aを中心にして放射状に複数の爪部12 b、13 bが設けられ、軸受プレート部1 bに嵌り込むことによって、該軸受プレート部1 bに固定されている。

【0019】図9は他の実施の形態を示す。この実施の形態のものと先の第1の実施の形態のものとの違いは、フリクションプレートの有無のみであり、他の部材は同じものであるので、説明を省略する。指示記号の同じものは先の第1実施の形態のものと同じ部材を示す。

【0020】この図9に示した実施の形態のものはフリクションプレートを省略してある。これは取付部材1の軸受プレート部1 bに耐磨耗性のある材料を用いた場合には、フリクションプレートを省略して第1及び第2フリクションワッシャー6、7が直に軸受プレート部1 bに圧接して摺動するように構成しても良いからである。

【0021】尚、以上の各実施の形態では、フリクションプレートには、SK-5を焼入れ焼戻しをして、硬度は大慨HRC57~63のものを用い、フリクションワ

ッシャーには、同じくSK-5を焼入れ焼戻しをして硬度HRC53±2のものを用いた。取付部材、回転シャフト、固定ワッシャーにはSUSを用いている。しかし、いずれも材料や硬度に限定はない。回転シャフト2の大径部2 aや軸受プレート部1 bの両側に直に第1及び第2フリクションワッシャーが6、7圧接して摺動する場合には、回転シャフト2や軸受プレート部1 bに必要な硬度と耐磨耗性を有するもの要用いることはいうまでもない。

【0022】さらに、第1及び第2フリクションワッシャー6、7を回転シャフト2に拘束する手段としては、以上の各実施の形態のもの以外に、回転シャフト2の軸支部2 dの軸方向全体に両側削除、或は片側削除の平坦部を形成させたり、溝部(凹部)を軸方向全体に形成させて、この変形させた部分の断面に適合する挿通孔を第1及び第2フリクションワッシャー6、7へ設けることによって、軸挿時に両者を係合させるようにしても良い。

【0023】さらに、上記各実施の形態のものは、第1及び第2フリクションワッシャー6、7が圧接摺動する面には、例えモリコートのような潤滑剤が塗布される。

【0024】

【発明の効果】この発明は以上のように構成したので、次のような効果を奏し得る。

【0025】請求項1のように構成すると、かしめという製造コストを下げることのできる構成で、回転シャフトと取付部材の相対的回転により軸受プレート部の両側に固定させた一対のフリクションプレートと第1及び第2フリクションワッシャーとの間に、圧接磨耗回動に伴うフリクショントルクが発生し、とくにスプリングワッシャー側の第2フリクションワッシャーが固定ワッシャーを介して軸受プレート部に圧接し、スプリングワッシャーが直に第2フリクションワッシャーに圧接することがないので、直にスプリングワッシャーが第2フリクションワッシャーに圧接する場合に比して、第2フリクションワッシャー圧接摺動面積が拡大し、かつ均等に軸受プレート部に圧接することになり、小型でもより高いフリクショントルクを創出することができるものである。

【0026】請求項2のように構成すると、回転シャフトの大径部と第1フリクションワッシャーの間、及び軸受プレート部と第2フリクションワッシャーとの間にフリクショントルクが発生し、請求項1と同じ効果を奏し得る。

【0027】請求項3のように構成すると、軸受プレート部の両側に固定させたフリクションプレートと第1及び第2フリクションワッシャーとの間にフリクショントルクが発生し、請求項1と同じ効果を奏した上で、第1及び第2フリクションワッシャーと圧接摺動する軸受プレート部の両側のフリクションプレートによって、耐磨

耗性が向上し、長年使用の後においても、フリクショントルクが変動することがないという効果を奏し得る。請求項4のように構成すると、回転シャフトの取付部にフラットな部分ができるので、この取付部へディスプレートを取り付け易くなるという利点がある。請求項5のように構成すると、フリクションワッシャーの爪部が、該フリクションワッシャーと共に回転させようとする、大径部、軸受プレート部、或は固定ワッシャーの全部或は一部の面部へ喰い込むことによってしっかりと固定されるという利点がある。請求項6のように構成すると、潤滑剤によって、フリクションワッシャーが圧接回転摺動する部分の磨耗や異音の発生を防止することができる。請求項7のように構成すると、フリクションワッシャーに爪部を突設することを省略することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係るチルトヒンジの正面図である。

【図2】図1に示したチルトヒンジの正面断面図である。

【図3】図1に示したチルトヒンジの分解斜視図である。

【図4】フリクションプレートの正面図である。

【図5】図4に示したフリクションプレートの縦断面図である。

【図6】フリクションワッシャーの断面図である。

【図7】この発明に係るチルトヒンジの他の実施の形態を示す分解斜視図である。

【図8】図7に示したチルトヒンジに用いるフリクションプレートの断面図である。

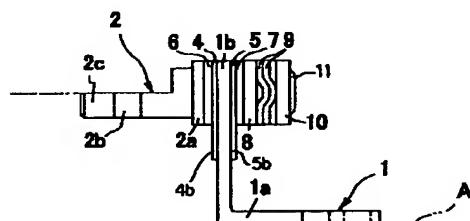
【図9】この発明に係るチルトヒンジのさらに他の実施

の形態を示す分解斜視図である。

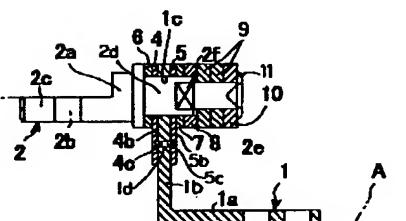
【符号の説明】

1	取付部材
1 a	取付プレート部
1 b	軸受プレート部
1 c	軸受孔
2	回転シャフト
2 a	大径部
2 c	取付部
2 d	軸支部
2 e	かしめ軸部
2 f	変形部
4	第1フリクションプレート
4 a	軸挿孔
5	第2フリクションプレート
5 d	油溜部
6	第1フリクションワッシャー
6 a	軸挿孔
6 b	爪部
7	第2フリクションワッシャー
7 a	軸挿孔
7 b	爪部
8	固定ワッシャー
9	スプリングワッシャー
10	押え用ワッシャー
10 a	軸挿孔
11	かしめ部
12	フリクションプレート
13	フリクションプレート

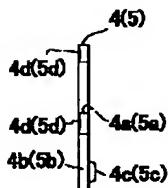
【図1】



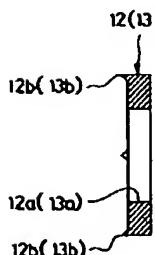
【図2】



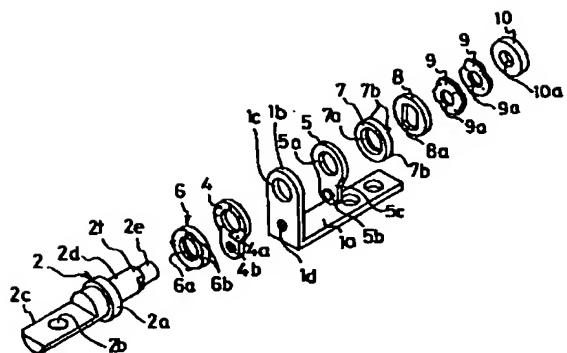
【図4】



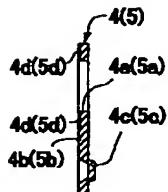
【図8】



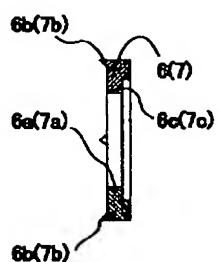
【図3】



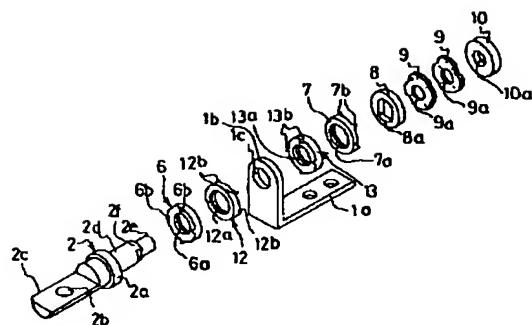
【図5】



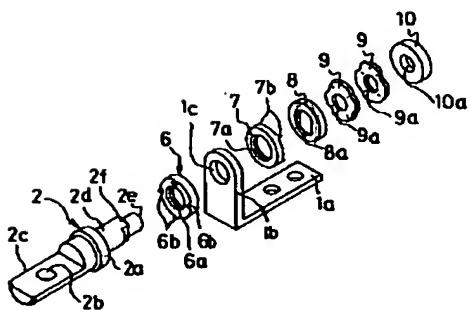
【図6】



【図7】



【図9】



DERWENT-ACC-NO: 2001-364353

DERWENT-WEEK: 200217

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Tilt hinge for opening-closing display body of OA apparatus, e.g. portable personal computer has attachment unit which relatively rotates with rotation shaft when predetermined torque is added

PATENT-ASSIGNEE: KATO DENKI KK[KATON] , KATOH ELECTRICAL MACHINERY CO LTD[KATON]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0288853 (October 8, 1999) , 1999JP-0280551 (September 30, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2001107941 A 011/04	April 17, 2001	N/A	007	F16C
KR 2001050634 A 011/06	June 15, 2001	N/A	000	E05D

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2001107941A	N/A	1999JP-0288853	October 8, 1999
KR2001050634A	N/A	2000KR-0056236	September 25, 2000

INT-CL (IPC): E05D011/06, F16C011/04 , F16C011/10

RELATED-ACC-NO: 2002-036490

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001107941A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - An attachment unit (1) relatively rotates with a rotation shaft (2)

when a caulking section (11) is provided and a predetermined rotation torque is

added. The caulking section is formed by a caulking material from a washer for

cramp (10) to the edge of a projected support section (2d). The washer for cramp is provided by passing to an axial piercing hole through the projected

support section.

DETAILED DESCRIPTION - The axial piercing hole is formed to a center portion in

contact with a spring washer (9). The spring washer is provided by passing to

an axial piercing hole, formed to the center portion in contact with a fixed washer (8), through the projected support section. The fixed washer is provided by passing to an axial piercing hole, formed to the center portion in

contact with a second friction washer (7), through a portion of the projected

support section.

USE - For opening-closing display body of office automation apparatus (OA),

e.g. portable personal computer.

ADVANTAGE - Higher friction torque is generated even if size is small.

Friction torque after use in long period of time is not varied. Enables display body to be easily attached to attachment section. Prevents wear and generation of noise.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the front sectional view of the tilt hinge.

Attachment unit 1

Rotation shaft 2

Support section 2d

Friction washer 7

Fixed washer 8

Spring washer 9

Washer for cramp 10

Caulking section 11

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/9

**TITLE-TERMS: TILT HINGE OPEN CLOSE DISPLAY BODY OA APPARATUS
PORTABLE PERSON**

**COMPUTER ATTACH UNIT RELATIVELY ROTATING ROTATING
SHAFT**

PREDETERMINED TORQUE ADD

DERWENT-CLASS: Q47 Q62 T01 T04

EPI-CODES: T04-H;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-265986